

平成28年度第1回青梅市図書館運営協議会会議録

平成28年7月14日（木）午後6時～

中央図書館多目的室

○ 委嘱状の交付

岡田教育長より新委員に対し委嘱状の交付

1 あいさつ

岡田教育長

2 自己紹介

出席者全員

3 報告事項

(1) 平成27年度図書館事業実施結果について

(事務局) [資料1にもとづき説明]

(委員) 項目12「黒木秀子氏の講演会」は何を使った講演会ですか。

(事務局) アニマシオンという、講演会参加者と一緒に楽しみながら本に親しんでいくという手法を用いた講演会です。黒木氏は日本アニマシオン協会の理事長をされています。

(委員) 先日、絵本の読み聞かせの講習会に参加し、多くの参加者がいて、刺激を受けたとの声がありました。ほかの朗読サークルと、知り合うきっかけも出来たそうです。

(事務局) 項目8「絵本のべんきょう会」と思われます。ご意見ありがとうございます。

(委員) 学校への団体貸し出しの状況はどうなっていますか。

(事務局) 平成27年度は、登録団体が476団体、貸し出し冊数は全体で12,933冊です。平成26年度は13,067冊で若干減りました。学校への団体貸し出し状況は集計しておらず、参考までに、児童の貸し出し冊数は、平成27年度は11,703

冊、平成26年度は11,970冊で若干減りました。ただし、登録団体数は、平成26年度の332団体から大きく増えています。

(委員) 学校では本を買う予算が限られているので、上手に地域の図書館で読みものとか、学校では調べものとか上手に仕分けができると効率的に使えるなと思います。地域の図書館にも子ども達が利用に行く、学校では学校の役割として、いろいろな学習活動に沿うものを行うことで役割分担ができればと思うので、今後いろいろと考えていきたいと思っています。

(事務局) ご意見ありがとうございます。

(委員) 項目27「修理講習会」の内容は、本の装丁や本の痛みを直すものですか。

(事務局) 学校で図書のボランティアをしていただいている方を対象に、本の修理の方法を説明する会を10月に開催しました。本の綴じが緩くなってページがとれてしまっているものや、破れてしまったものの修理の方法などを学習会の中で説明しました。多目的室にて実施し、27年度は応募が多かったため2回開催しました。

(2) 指定管理者による図書館の管理運営について

(指定管理者) [資料2にもとづき説明]

(委員) 4月から月曜日が開館になりましたが、他の曜日に比べて月曜日の利用状況に違いはありますか。

(指定管理者) 中央図書館の入館者数について、4月の月曜日の来館状況は他の曜日に比べると半分程度です。6月以降は他の曜日と同じ程度になってきています。

一時預かり保育「ちーのんクラブ」を毎週月曜日に3階のおはなしの部屋で行っており、月曜日の来館につながるものと考えています。

(委員) 実績数値を見ると、貸し出し冊数が去年より増えている割には、利用者数が平均なのは、月曜日の影響ですか。

(指定管理者) 月曜日開館のほか、4月から1人当たりの貸し出し冊数

を図書を 10 冊に、視聴覚資料を 3 点に増やしたことも影響していると考えられます。

(委員) 廃館となった河辺図書館と東青梅図書館の利用者がそのまま他に行っているのか、少ない気がしますどうみえますか。

(指定管理者) 貸し出し総数は、今までマイナスだった所からプラスに転じており、一人当たりの貸し出し条件が変わった影響によるほか、廃館した 2 館の影響が考えられます。

自分の家の近くの図書館が無くなったという声はあり、そのような方は図書館の利用頻度が今までより少なくなることは考えられます。

(委員) そのような声はどのくらいありますか。

(指定管理者) 数回程度で頻繁にはありません。廃館後は子育て支援施設になると回答しご理解いただいています。また、ブックポストはそのまま設置しているので本を返すことには不便さはないと感じています。

(委員) ハンディキャップサービスが増えていますがどうしてですか。

(指定管理者) 特段何かをしたということはありません。

(委員) 新刊図書案内は何人に出していますか。

(指定管理者) 昨年度と同程度です。

(委員) 市内の視覚障害者の数は約 400 人ですが、その内の約 35 人に送っていると思います。それは、登録されたときに確認するのですか。

(事務局) 利用者登録をする際に、手帳を提示された方についてはハンディキャップ登録をさせていただいています。

(委員) 視覚障害者の方は自ら図書館に来るのはとても大変なことです。このハンディキャップサービスがあることを知らない方が大半です。約 400 人いる中でその程度の利用しかありません。声の広報も作って発送していますが同じような状況です。ハンディキャップを持っている方にその情報が届く方法を考えてほしい。

(事務局) 障がい者福祉課で視覚障害者の方に何か発送する際に、こういうサービスがあるという案内を添付し利用促進を図り、視覚障害者の方からこちらに情報がほしいというアクションを出してもらえるようにしていきたいと考えます。

(委員) カフェの利用者層、年齢層はどのような方が多いですか。また、乳幼児預かりサービスの数字が増えている日は行事があって預けているということではなく、何も無い状態でこの数字が上がっているということですか。また、それぞれの新サービスで、トラブルは発生していませんか。

(指定管理者) カフェの利用は年齢層の高い方が多いです。館内に滞在型として来られている層がそのまま反映していると考えます。大きなトラブルはありませんが、コーヒーによる資料の汚破損は今まで新聞の1件がありました。雑誌等の保存性の高いものの事故は生じていません。

乳幼児預かりサービスの数字ですが、図書館のイベントに合わせて多い少ないということはありません。

(委員) 乳幼児預かりサービスの利用者が館内に留まっているのか確認していますか。外に出て行く人はいませんか。

(指定管理者) 確認しています。外に出て行く人はいません。多くの方は3階でお子様を預けて、そのまま3階にいます。

(委員) 預かっている子供の声がうるさい等の苦情はありますか。

(指定管理者) 1、2件ありました。

(委員) 里帰りママは利用できますか。

(指定管理者) お子様を預かることから、連絡先の登録がある、利用者カードをお持ちの方を対象としてスタートしました。

(委員) 指定管理を導入した4月以降、市の組織体制はどう変わったのでしょうか。

(事務局) 中央図書館管理課は課長1人、係長1人、係員3人の5人体制となりました。

(指定管理者) 中央図書館では60を超える人数、分館を含めると100

人程度となります。

(委員) 市の職員は4階の事務室に常駐していますか。

(事務局) 今までどおり4階の事務室に常駐しています。

4 その他

(事務局) [公益財団法人図書館振興財団平成28年度提案型助成事業申請について説明]

(事務局) [次回開催日程について説明]

(会長) 以上で、本日予定した案件は全て終了しました。これをもちまして、平成28年度第1回図書館運営協議会を閉会します。

以上